

はもち

R8年7月13日編

放課後子ども教室

～地域の力を子どもたちのために～

だより



今回は佐渡市立理科センターの川岸先生と古塩先生に来ていただき『紙コップでつくる万華鏡』を教えてくださいました。材料は、紙コップとセロハンテープと偏光板だけでした。作り方を説明していただき、こどもたちは近くの支援員や高校生に教えてもらいながら、基本の形はあっという間にできました。そこからが今回の不思議な万華鏡の面白さでした。セロハンテープの貼る向きや枚数によってドンドン見える万華鏡の色や形が変わっていきます。作業も控えめに大胆に貼って完成！と終わらせた子も、細かくたくさんのセロハンテープを貼った友達の万華鏡に刺激をされて、またセロハンテープを貼り足してお互いに比べてみたり、高校生や支援員の万華鏡をのぞいたり交流を楽しみました。家に帰っておうちの人にも見せてみたい！と言いながら、最後の時間まで少しずつの変化を楽しみながら大喜びのこどもたちでした。



～児童受付について～

まだ申し込みをしていない1～3年生もいつでも参加できます

～支援員・地域ボランティア募集中～

興味のある方は南教育事所(羽茂)までご連絡ください





【コーディネーターより、ちょっと一言】 放課後子ども教室の運営委員会の時にアイディアを出してもらったプログラムのひとつで 11 年目にして初めて佐渡市立理科教育センターの先生方に教えに来ていただきました。理科センターの先生方には、事前に参加児童の数や地域の支援員や高校生の参加については伝えていましたが、実際に来られて、子どもに対してたくさんの大人が関わっているはもち放課後子ども教室の様子を大変驚かれ、また喜ばれていました。「他校の放課後子ども教室にも出張講座をしたことがありましたが、はもち放課後子ども教室はいろいろな方と交流できてとても恵まれているのですね」と声をかけていただきました。良さを見つけていただき声をかけていただけるのも大変うれしいことでした。

発行者：はもち放課後子ども教室 コーディネーター 本間・梅澤
 問合先：佐渡市教育委員会 南地区教育事務所(羽茂) 電話 88-2230